酸素吸入

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | （　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施内容 | 酸素吸入 | |
| 実施手順 | | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。  酸素ボンベ　酸素供給アタッチメント　パルスオキシメーター  時計　ストップウォッチ | |
| 準　備 | 1. 登校時の確認   ・酸素ボンベの酸素残量を確認する。  ・流量設定ダイヤルの目盛りが＂０＂になって  いることを確認する。  ・流量調整器の取り付けハンドルが緩んでいな  いか確認する。  ・保護者への連絡方法を確認する。  ・酸素吸入をしながら登校した場合は、園内（校  内）に保護者待機を依頼する。   1. 症状の観察をする。   ・酸素飽和度（SpO₂）、口唇チアノーゼ、  顔色不良  ・症状がみられた場合は、その時刻から計時す  る。  ・看護師に連絡する。  ・姿勢変換、吸引などを行い、酸素飽和度（SpO  ₂）の改善を試みる。  ・体温、脈拍、呼吸状態の確認をする。  ・本人の姿勢を整える。   1. 酸素吸入の判断をする。   酸素飽和度（SpO₂）の値が10分以上持続して、93％以下の場合に酸素吸入となる。  ₂）   1. 保護者に連絡し、酸素吸入の許可を得て来園（来校）を依頼する。   ・園長、副園長（養護教諭、教頭）に連絡する。 | ・酸素ボンベは常時携帯す  る。  ・酸素ボンベの予備は職員室  　に保管する。  ・看護師のみの実施となる。  ・保護者に状況を説明する。  連絡がつかない場合は、実  施（酸素吸入）しながら連絡  をする。 |
| 実　施 | 1. 本人に酸素吸入すること伝える。   酸素流量を（　）ℓ／分で開始する。  ・酸素ボンベの酸素残量を確認する。  ・酸素ボンベと酸素供給アタッチメントをつな  　ぐ。  ・流量設定ダイヤルの目盛りが＂０＂になって  いることを確認する。  ・ボンベの元栓をゆっくりと開く。  ・流量ダイアルの目盛りを、（　）に合わせる。  ・酸素供給アタッチメントを人工鼻に装着す  る。  ⑥　酸素飽和度（SpO₂）、脈拍、チアノーゼの有  　　無、呼吸状態の観察をする。  ⑦　来校した保護者に状態を確認してもらい、  　　その後の対応を判断する。  ・改善したので酸素吸入を終了する。  ・酸素吸入を継続し、保護者に園内（校内）待機  してもらう。  ・保護者と一緒に帰宅する。 | ・火気厳禁とする。  ・手指消毒は剤は、引火の可  能性があるので使用しな  い。  ・主治医の指示の流量にす  る。  ・チューブの折れ曲がりがないか確認する。  ・状況が改善せず、保護者に  連絡がつかない場合は緊急  時対応（救急車搬送）をとり  ながら連絡をする。  ・酸素飽和度（SpO₂）、脈拍、  チアノーゼの有無、呼吸状  態を継続して観察をする。 |
| 終　了 | 1. 物品の後片付けをする。   ⑨　連絡帳に記録する。 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 状態が改善せず、保護者に連絡がつかない場合 | 保護者連絡継続 | 救急車搬送 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）  （父） | －　　　　－  　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 病院（小児科） | －　　　　－ |
| 救急搬送 | 状況が改善せず、保護者に連絡がつかない場合、救急車搬送する。 | |
| その他 |  | |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）